

GREEN RADAR

重点事業方針 A-Policy

- ・平成28年度米穀の中期事業計画の進捗状況
- ・平成28年度生産販売部果実課事業計画の進捗状況

JA改革 中期事業計画（平成28～30年度） 自己改革の進捗状況について

レポート A-Reports

ご利用者のみなさまに「エーコープ塩こうじパウダー」をプレゼントしました！

- ・『ご利用者感謝キャンペーン』実施
- ・「NAGANOドライフルーツパーティー」開催
～外国人観光客に県産ドライフルーツのおいしさをPR～
- ・使いやすさや見た目は組織の信頼感につながる！
～県本部ホームページをリニューアル～

Vol.453
FEBRUARY
2017

2



県本部ホームページをリニューアル

米穀課

平成28年度 米穀の中期事業計画の進捗状況

平成28年度の事業計画は総供給販売高183億1千万円を目標に事業推進してきました。また、平成30年以降の米穀事業の在り方について、米穀プロジェクトで検討を行いました。

【米穀事業の進捗状況について】

平成27年産米は長野県の作況指数は「97」、集荷数量は7万2千5百トンとなり、平成28年11月には全量販売が完了しました。平均販売価格はコシヒカリA地区1等紙袋で1万3千654円でした。

平成28年産米は長野県の作況指数は「101」、12月末現在の集荷数量は7万5千8百トン（昨年比3千3百トン増）となっています。収穫期に降雨が続き刈り遅れによる品質低下が懸念されましたが、胴割粒の発生は昨年を下回っており、1等比率は11月末現在97・3%（水稻うるち玄米）で、品質面の問題はあ

りません。コシヒカリA地区1等の相対基準価格は1万4千円と、前年産を500円上回っています。

【重点推進事項について】

①平成28年産米集荷は概算金の引き上げ、米穀事業基盤強化奨励の活用による集荷対策の推進により集荷数量の積上げを図りました。概算金はコシヒカリで1,020円、あきたこまちで1,860円、風さやかで2,100円前年を上回り、相対価格の上げ以上に引き上げを行いました。

②平成28年産米の販売は平成30年以降を見据えて積極的に複数年契約の推進に取り組んだ結果、28年から3カ年の複数年契約は27年から3カ年の契約を1万2千9百トン上回る2万2千3百トンの契約となりました。

③消費拡大対策として、テレビCMを生産者編と消費者編の2種類制

作・放映をしています。新米キャンペーンは昨年に引き続き「はななかつば」をキャラクターに起用し、県内卸の協力のもと専用精米袋での販売を展開しました。また、日本酒消費拡大のテレビCMには阿部知事に出演いただき、平成29年1月より放映しています。

④28年産米から新たに、重点取引先である東洋ライス㈱と共同し、長野米の輸出を開始しました。農業所得の向上と長野米の更なる販路拡大を目指す「金芽米」等の高付加価値米の輸出について東南アジア、北米、ヨーロッパへの輸出を展開していきます。

⑤平成30年以降の米穀



1月に台湾のスーパーで行った長野米宣伝会

果実課

平成28年度生産販売部 果実課事業計画の進捗状況

平成28年度の事業計画は、果実市場販売額337・9億円、加工果実4・8億円、購買種苗2・4億円、合計345・1億円の必達に向け、事業を推進して参りました。

1. 平成28年度生産販売経過

本年度の気象背景は、暖冬による少雪から始まり、花芽の生育は前進した昨年に次ぐ早さで開花期を迎えたものの、主要品目は開花直前の4月12日に全県で凍霜害の被害に遭遇し、最先の悪い状況でスタートを切りました。特にリンゴ関係では、側果対応により着果数を確保せざるを得ない状況に加え、夏場の高温干ばつ、9月の曇天長雨はリンゴ、ブドウを中心に品質に悪影響を与えた結果となりました。また10月5日に接近した台風18号の被害は、中北信に大きな被害を与え、リンゴ中晩生種の生産量は大幅に減少する結果となりました。

2. 中期3ヶ年計画の進捗状況

(1)リンゴフェザー苗の安定供給
JA長野県営農センターと連携し

した。

販売面では、競合各県との情報交換を含めた連携が、大きな混乱を招くことなく経過し、入荷減単価高の状況は年間通じて顕著に表れました。これらの背景から、リンゴは晩生種に近づくにつれ集荷量が減少し、各地で農家巡回を含めた集荷対策を実行し系統取扱量の確保に努めました。ブドウ関係では、ハウス期からシャインマスカットの増産傾向が目立ち、巨峰からの転換が露地栽培を含み進みました。相場もシャインマスカットが牽引する形が顕著に見え、ブドウ全体で117億円前後の見通しとなり、全体では、リンゴの減少分をブドウがカバーした結果となりました。

たフェザー苗の生産供給事業も4年目を迎え、技術的にも確立に近づいたことから、本年度は(有)農地ホスピタル朝日を中心に2万本余の生産供給の見込みとなりました。次年度はリンゴ長果25(シナノリップ)を中心に「ふじ」の再構築に向けた苗木生産供給の方向付けを検討して参ります。

(2)リンゴ着色系統への生産振興
長野県果樹試験場育成のリンゴ長果25(シナノリップ・種苗登録出願中)の消費者モニター調査を東京、大阪会場で実施しました。ほぼ同時期の販売となる品種「青森県産ふじ」「長野県産サンつがる」との比較調査の結果、予想以上の高評価を得ることができました。今後はフェザー苗生産供給技術の確立等、関係機関と連携し早期産地化を目指して参ります。

(3)長期貯蔵販売への取り組み
シナノスイート、シナノゴールド



M9 母株の掘り取り

を中心に約15,000コンテナの1・MCP処理等の貯蔵を今年も実施しました。既に商談を済ませ、1月より重点となる実需者(生協、量販店)を中心に出荷販売します。また、民間会社の協力を得てブドウの長期コンテナ冷蔵、鮮度維持試験に取り組んでいます。

自己改革の進捗状況について

全農長野県本部は、ＪＡおよび子会社とともに、ＪＡ自己改革の進展を加速化させ、農業所得の増大と地域の活性化に取り組んでいます。

Ⅰ．「自己改革における最重点施策」 平成28年12月末時点での総括

その1▼営農支援体制の充実《担い手に対する出向く体制強化および労働力確保》

- (1)「出向く体制」整備に向けた対策会議等を開催したほか、品目別や地区別の研修会を通して若手・中堅営農指導員のレベルアップを図りました。労働力確保については、継続的な情報交換を行いながら対策を具体化していきます。
- (2)生産購買部門からのアプローチとして、肥料・農薬の直送可能品目の拡充と提案推進による物流コスト削減の農家還元に取り組みました。また、県域農機レンタル事業の29年4月からの本格実施に向け、利用者ニーズを精査しながら体制を構築してきました。
- (3)畜産・酪農では新たな生産農場の稼働、県本部生産農場での素畜供給拡充やＪＡと一体となった営農指導の強化等を通じて、素畜の不足・価格高騰に対応し生産基盤の維持に取り組みました。

その2▼農業所得の増大《ＪＡ・県域による販売力強化とコスト削減》

- (1)価格安定のため各品目で計画生産・適正生産に取り組むとともに、生産者手取りの確保に向けた様々な提案を展開しました。消費地では積極的な消費宣伝活動を行うとともに、総合宣伝の発信力強化による長野県産農畜産物ブランドの強化に努めました。
- (2)生産資材では、コスト低減や販売力強化に資する付加価値の向上等、農家・ＪＡのニーズに応える商品開発ならびに提案を実施しました。

その3▼ライフラインの充実《地域の生活基盤整備》

- (1)各ＪＡの生活事業方針を踏まえた、物流コスト・運営経費等の見直しを含む業務の効率化と取扱商品ならびにサービスの魅力向上を絶えず図りながら、地域の生活に欠かせないライフラインとしての役割を発揮しています。
- (2)29年度に向けては、ＪＡ・子会社や県域組織と連携・協力しながら、より幅広い世代にＪＡ生活事業を認知してもらうよう、商品・サービスの更なる向上とＰＲによる発信力の強化に努めます。

【生産販売部】

実行具体策	28年度計画	12月末進捗状況	達成度合いと今後の進め方
-------	--------	----------	--------------

1. 生産基盤の維持・拡大

(1)多収穫・省力栽培による規模拡大 ①コギクの生産拡大 ②加工業務用野菜の拡大推進	①165万本 ②キャベツ1,000t	①224万本 ②キャベツ1,065t	①旧盆・秋彼岸出荷を含めた振興対策実施。 ②省力化を目的とした収穫機械導入を進める。
(2)計画・適正生産の推進 ①リンゴ早生種（長果25等）早期産地化 ②夏ハクサイの適正生産 ③レタス生産力維持	①新規1万本 ②220万ケース ③1,300万ケース	①1万本 ②258万ケース ③1,318万ケース	①安定生産技術および予約生産体制の確立 ②計画を超過したため、数量抑制の啓発と作物転換をすすめる。 ③次年度の安定生産対策を検討。

2. 集出荷対策の向上

(1)多様な生産者（大規模農家・法人・系統外含む）への販売企画提案	リスト作成・新規4件	法人リスト作成	・果実、きのこについてはそれぞれ数件、提案推進中。 ・加工業務用キャベツの米地帯への推進は、次年度に向け、本年度の状況を検証して進める。 ・加工用セリリーの継続試験を実施。次年度は実用化に向けた試験を継続する。
-----------------------------------	------------	---------	---

3. 商品提供力の強化

(1)多様な販売手法への取組 ①リンゴ長期貯蔵販売の拡大 (2)加工・業務需要、輸出事業への対応強化 ①リンゴ輸出専用栽培の推進 (3)総合品目宣伝による認知度向上	①8,000コンテナ ①検討 実施	①7,000コンテナ ①試験終了 実施	収穫基準の統一による品質向上を図っていく。 行政とともに結果検証を行っていく。 口コおよび資材を統一、次年度以降、活用促進を引き続き進める。
--	-------------------------	---------------------------	--

4. J A・県本部一体となった長野米集荷推進の実施と販売力強化

(1)集荷重量	80,000t	75,800t	計画には達しなかったが、概算金の増、集荷奨励等を通じて、出荷契約数量を上回る集荷が出来た。
---------	---------	---------	---

Ⅱ. 各事業別 平成28年12月末進捗状況

【J A長野県営農センター】

実行具体策

1. 中心的担い手の育成・支援

28年度計画	12月末進捗状況	達成度合いと今後の進め方
(1)J Aと県域の出向く体制整備	全J A	県域担い手対策会議等の開催
(2)労働力確保情報交換会等の開催	4回	3回
		第4回（1／24）を開催し、平成29年度以降の取組方針を確認する。

2. 営農指導体制の強化

(1)担い手アンケートにもとづく指導体制強化	6J A	J A中野市、J Aグリーン長野で実施	J A大北、J A信州つえだの取組みを促進する。
(2)品目別ボトムアップ研修会開催（受講者数）	20人	果樹1回（32人受講）	1／18 第2回 2／14 第3回
(3)指導者会議 ブロック別検討会開催	20回	22回	計画達成。次年度計画の樹立

3. 栽培技術等によるコスト削減推進

(1)リンゴM9台木の取木繁殖技術定着推進と、ウィルスフリー化台木生産	35千本	33千本	次年度以降の生産体制について検討する。
(2)業務用多収穫省力化技術研修会開催 ①供給先別果樹多収穫技術研修会 ②業務用野菜栽培技術研修会	①2回 ②3回	①4回 ②4回	①栽培技術の研究と研修会計画の樹立 ②キャベツ機械収穫一貫体系の実践検証

4. 安全・安心な信州農作物の生産・供給

(1)残留農薬自主検査の実施	1,700検体	1,659検体	計画どおり実施していく。
(2)トレース産地条件の整備と推進	調査・検討	調査の実施	トレースフォワードの調査・検討を進める。

【生産購買部】

実行具体策	28年度計画	12月末進捗状況	達成度合いと今後の進め方
-------	--------	----------	--------------

1. 販売と連携した包材の開発普及

(1)段ボール原紙アイテムの集約（累計アイテム数）	3アイテム	5アイテム	さらなる集約に向けて提案・試験を継続する。
(2)流通から小売までの潜在的なニーズを捉えた包装資材の開発	2J Aで採用	1J Aで採用	採用された形態を他J Aに提案し、他の形態についても提案・試験を継続中。

2. 肥料農薬の担い手推進

(1)「わたしの肥料」の拡大	2,200t	1,182t	本格受注は下半期。担い手推進の主要なツールとしてJ Aと一体的に活動する。
(2)B B肥料工場・農家直行方式の拡大（単肥との積み合せ配送）	2,000t	2,108t	利用農家が拡大し、計画を達成。B B肥料中心だが、単肥との積み合せの拡大を図る。
(3)担い手向け超大型規格農薬のメーカー・農家間直送の提案推進	水稻剤450ha	水稻剤547ha	商品ラインナップ拡充により計画を上回った。次年度に向け提案を継続する。

3. 農機コスト低減の取り組み

(1)トラクター等の県域推奨型式設定による取扱重点化	1型式	1型式	県域推奨型式研究委員会を立ち上げ検討会を実施。トラクター1型式を決定した。J Aから3月末までに予約受注し、5月より組合員供給開始予定。
(2)中古農機の流通促進、レンタルの事業化	検討・施行	・レンタル事業11月開始 ・県本部職員対象の不要農機査定・買取希望調査の実施	・11月に県域レンタル事業実施要領を制定。担い手、新規就農者の需要を踏まえ機種選定の土、4月より貸出し開始予定。 ・中古農機流通促進は、1月より県本部職員対象の不要農機査定・買取調査から取組む。結果を踏まえ段階的にJ Aに水平展開させ、優良中古農機の掘り起こしを図る。

【畜産酪農部】

実行具体策		28年度計画	12月末進捗状況	達成度合いと今後の進め方
1. 生産基盤の維持確保				
(1) 空舎利用による生産農場の稼働	2農場	2農場稼働	J Aみなみ信州、J A佐久浅間	
(2) 生乳出荷量の確保	100,000t	73,858t	畜産クラスター事業による増頭により、8〜11月単月で前年を上回った。	
2. 信州産ブランドの確立				
(1) 信州プレミアム牛肉の販売促進	2,300頭	1,589頭	空舎利用および集荷強化による頭数確保に努める。	
(2) 特色ある「信州産」牛乳・乳製品の商品開発・販売	開発・販売	松本山雅牛乳使用ソフトクリーム販売	真田丸・御柱祭に絡めた農協牛乳キャンペーンを実施した。農協牛乳「真田冬の陣」キャンペーン実施。(1/31まで)	
3. 飼料用米の流通体制の確立				
(1) 流通数量	2,000t	取りまとめ完了	平成28年産米では前年産並の1,200tを確保している。	
4. 地域畜産酪農営農センターの設置				
(1) 進捗状況	1箇所検討	2箇所検討	具体的検討に着手している。	
5. 県本部生産農場の素畜供給機能拡充				
(1) 素牛販売頭数(二丘牧場)	35頭	33頭	優良血統繁殖牛の県内保留拡大を進める。	
(2) 素子豚供給頭数(SPF豚繁殖センター)	21,500頭	15,822頭	子豚事故防止により出荷頭数を確保する。	
(3) 初妊牛上場頭数(ハケ岳牧場)	10頭	6頭	2月開催市場でも上場を予定している。	

【生活部】

実行具体策		28年度計画	12月末進捗状況	達成度合いと今後の進め方
1. 石油取扱数量の確保				
取扱数量	324,000kl	221,083kl	2月未だで灯油需要期対策および揮発油特別対策を実施して、系統結集と競争力強化に向けた推進を強化する。	
2. ガス取扱数量の確保				
取扱数量	19,800t	13,269t	供給戸数減少の中、保安指導強化により安全確保および実績維持を図る。今後、環境変化に対応した事業体制構築を進める。	
3. 自動車取扱台数の確保				
取扱台数	3,000台	1,849台	営農車を中心に各種推進施策を展開し取扱台数確保を図る。また、今後の営農車のあり方を協議して県域結集を進める。	
4. SS協同経営販売数量の確保				
販売数量	95,342kl	71,708kl	統一・独自供給促進に取り組み販売強化に努めた。今後拡販施策の取組強化による推進および柔軟な小売価格の設定を図る。	
5. 宅配おまかせ会員戸数の維持				
会員戸数	7,800戸	7,215戸	利用者は高齢化に伴い減少傾向であるが、J A等と連携し、利用者懇談会や女性部組織の協力による事業PRを強化する。	
6. 家庭薬配置戸数の確保				
配置戸数	95,000戸	92,254戸	配置戸数は高齢化に伴い減少傾向であるが、健康増進事業としてPRし、配置体制の確保とJ Aと協力連携した推進を行う。	
7. セレモニー県域施行件数の確保				
施行件数	3,400件	2,639件	急激に増加する小規模葬・直葬への早急な対応を図る一方、セレモニー会員獲得に向けた新たなメニュー創出を検討する。	

ご利用者のみなさまに

「エーコープ塩こうじパウダー」をプレゼントしました！

『ご利用者感謝キャンペーン』実施！

J Aまごころ宅配では長野県下約10,000戸のご利用の皆様を対象に、「ご利用感謝キャンペーン」を実施しました。日頃の感謝を込めて、1月23日(月)〜25日(水)に商品のお届けがあるご利用者の皆様へ、万能調味料といわれる塩麹を使いやすい粉末にした、エーコープマーク品の「エーコープ塩こうじパウダー」を一袋ずつプレゼントしました。

また、キャンペーン期間中にお届けする商品のご注文カタログ「宅・鮮だより(生鮮品)」では「大感謝祭」として特別価格での商品や、プレゼント品を使ったお料理に活用できる信州産の精肉や野菜などをご提案しました。

J Aまごころ宅配は、何かと忙しい皆様へ「冷蔵庫におかずがある安心感」を食品等と一緒にお届けしています。

ただいま、J Aまごころ宅配では

「おまかせアレンジメニューおためしキャンペーン」を実施中です。

J Aまごころ宅配でお届けしている食材の見本セットを一週間分(2回)無料でお届けします。お申込は、

J A全農長野生活課まごころ宅配(TEL 026-236-2257)へ、

または、お近くのJ Aまで気軽にお声掛けください。



プレゼント品の「エーコープ塩こうじパウダー」

2017年 1月4週 お届け号

くらしを応援! JAまごころ宅配

宅・鮮だより 生鮮品

JAまごころ宅配

大感謝祭

日頃のご愛顧に感謝し、「塩こうじパウダー(だし入り)72g(12g×6袋)」をプレゼントいたします。ご注文お待ちしております。

※1月23日(月)・24日(火)・25日(水)に配送のある会員の皆様にお届けします。(当日配送がない場合は対象外となりますのでご注意ください。)

001

塩こうじパウダー(だし入り)72g(12g×6袋)

参考本体価格 (288円)

税込価格 311円

002

宮崎県産養殖 うなぎ蒲焼き カット 65g 1袋

参考本体価格 (799円)

税込価格 863円

003

信州産 豚小間切れ 300g 1パック

参考本体価格 (369円)

税込価格 399円

004

国産 鶏むね肉 1kg 1パック

参考本体価格 (459円)

税込価格 496円

005

信州産 牛もも サイコロステーキ 160g 1パック

参考本体価格 (925円)

税込価格 999円

006

国産 まぐろ・かつお 燗煮セット 150g×3 1袋

参考本体価格 (1,559円)

税込価格 1,684円

007

愛知県・群馬県産 プロックロー 1袋1枚 1袋

参考本体価格 (199円)

税込価格 215円

008

千葉県産 安城産 かつまいも 1袋2本 1袋

参考本体価格 (299円)

税込価格 323円

009

アメリカ・ロシア産 ほっけみりん 2種 1パック

参考本体価格 (299円)

税込価格 323円

010

お肉 塩こうじパウダー(だし入り)72g(12g×6袋)

参考本体価格 (319円)

税込価格 345円

011

ダイオミ 5つの味の スープはるさめ 10食分 1袋

参考本体価格 (369円)

税込価格 398円

012

カゴメ 野菜生活100 オリジナル 200ml×12本 1箱

参考本体価格 (907円)

税込価格 980円

注文カタログ「宅・鮮だより(生鮮品)」

まごころ宅配HPでも、簡単にお近くのJA問い合わせ先が検索できます。

JAまごころ宅配ホームページ
<http://www.nn.zennoh.or.jp/jatakuhai/>

J Aまごころ宅配 検索

「NAGANOドライフルーツパーティー」開催

外国人観光客に県産ドライフルーツのおいしさをPR

全農長野県本部生産販売企画課は1月16日(月)、野沢温泉村の旅館「命延」で「NAGANOドライフルーツパーティー」を開き、スキーに訪れた外国人観光客に長野県産ドライフルーツのおいしさをPRしました。

長野県に外国人観光客が訪れるのは冬のスキーズーンが圧倒的に多く、その皆さんには生の果実を召し上がっていただくことはあまりできませんが、ドライフルーツであれば味わっていただけると思い開催しました。

紅玉、シナノゴールド、ナガノパープル、シャインマスカット、ナシ、モモ、ブルー、市田柿の8品目10種類(紅玉



ドライフルーツを試食するオーストラリアからの観光客



10種類のドライフルーツを用意

とシナノゴールドは無調味ドライとセミドライの2種類)をつを(一社)長野県農村工業研究所が用意しました。お盆に試食のドライフルーツとアンケート用紙をセットし、それぞれ「味」と「商品があれば購入するか」を記入してもらったところ、紅玉、ナガノパープルやモモの評価が比較的高いことがわかり、オーストラリアから来た女性「普段からリンゴ、ブドウ、アズノドライフルーツを食べます。今日はナガノパープルとモモがおいしかった」と話していました。

食味については「甘すぎる」「硬い」など、商品化に向けた改善点のヒントも得られ、今回のアンケート結果を元に、県産ドライフルーツを今後商品化・商材化できないか検討していきたいと思っています。

なお、当県本部が原料供給しているワインとチーズも提供し、「NAGANOのおいしいもの」を味わっていただき、会場では「Fantastic!」が連呼されていました。

花のある生活を楽しんで！

親子でプチブーケ作り教室を開催

JA長野県農産物PR協議会(事務局/全農長野県本部生産販売企画課)と、長野県やJA長野県グループなどで構成する「おいしい信州ふーど(風土)」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーン推進委員会は1月12日(木)、長野市こども広場で、プチブーケ作り教室を開きました。花のある生活を楽しんでもらうとともに、県産の花をPRしようとして子育て世代を対象に実施し、公募した40名が参加しました。

アネモネを花材に使い、花の選定、向きの調整、ラッピング、ひもで縛って固定、という作業をして約30分でプチブーケが完成しました。参加者は「基本を教えてもらい、思ったより簡単に作れることがわかった」ととても楽しい」と、プチブーケを持ち帰りました。



お子さんも一緒に挑戦



カラフルなブーケに仕上がった

使いやすさや見た目は組織の信頼感につながる！

県本部ホームページをリニューアル

全農長野県本部はホームページを2月1日(水)にリニューアル公開しました。

新しいホームページでは、パソコンやスマートフォン、タブレットなどのブラウザの幅に合わせて表示するデザインを調整するマルチデバイス対応と、最新情報やキャンペーン情報などを担当部署から直接更新できるCMS(コンテンツ・マネジメ

ント・システム)を採用し、デザインには「三ツ山マーク」の青を取り入れ、イメージの統一を図りました。ネット社会が日々進化の中で、ホームページの重要性が益々高くなっており、その使いやすさや見た目は組織の信頼感にもつながります。

一方、これまでの県本部ホームページは足りない部分を継ぎ足しながら長年使用してきたため、「デザイン

の統一性がない」「探したい情報がどこにあるのかわからない」といった声がありました。

新ホームページは、「閲覧者が見たい情報に簡単にたどり着けること」「閲覧者から信頼され、拡散されるホームページ」を目指し、制作会社の選定にあたってはプロポーザル方式を取り、県本部関係者と制作会社が意見を出し合いながら共同で

作業をすすめてきました。

長野県の農畜産物や地域のサービスに関する情報が詰まったホームページを、ぜひご覧ください。



全農長野県本部ホームページは <http://www.nn.zennoh.or.jp/> または

JA全農長野

検索

2月の動き▶

総務広報課	1/29(日)～ 2/5(日)	全農日本カーリング選手権大会 軽井沢アイスパーク
野菜花き課	2/2(木)～ 2/3(金)	第48回信州フラワーショー ウィンターセレクション JA南信会館
JA長野県 農産物PR 協議会 (生産販売企画課)	2/14(火)	ながの銀嶺国体競技会場で 「ホットチョコミルク」振る舞い 白馬村ウイング21 スキー競技会開会式場にて、 信州の牛乳たっぷり「ホットチョコミルク」 500杯を振る舞います。
きのこ課	2/12(日)、 2/18(土)	長野灯明まつりで 「灯明鍋」振る舞い 長野市中央通り 灯明まつり中の2日間、 午後7時より北野文芸座前で灯明鍋 (きのこ汁) 1000食を振る舞います。
畜産酪農部	実施中～ 2/28(火)	信州の畜産酪農キャンペーン
	2/25(土)	畜産・酪農家との婚活パーティー ホテルブエナビスタ

2月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
2/7(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	酪農家訪問
2/14(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ
2/21(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
2/28(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	畜産・酪農家との婚活パーティーの様子

JA全農長野の事業現況▶

平成28年度12月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	12,565	100	101
果	実	34,163	103	100
野菜花き		68,183	109	95
野菜種苗センター		159	104	97
きのこ		16,245	95	99
営	業	12,072	99	100
生産販売部計		143,385	104	97
包装資材		7,213	94	96
生産資材		8,500	94	88
農業機械		5,838	107	104
施設住宅		5,098	136	132
生産購買部計		26,648	102	100
畜産		11,121	123	108
三岳牧場		241	113	105
SPF繁殖センター		207	98	102
酪農		14,710	107	105
ハケ岳牧場		241	100	115
畜産酪農部計		26,519	113	106
燃料・ホームエネルギー		16,590	96	92
SS協同経営		7,202	86	90
生活		9,887	101	98
生活部計		33,679	95	93
長野県本部計		230,231	103	98

(内部販売高含む)

編集後記

2月26日から、2017年シーズンのJ2リーグが始まります。全農長野県本部は2017年も引き続き松本山雅FCを支援させていたことになりました。昨シーズン終了後、反町監督はじめ選手・スタッフはこの悔しさを忘れずに、来シーズンは最後にみんなで喜びを分かち合いたい!とことあるごとに口にしていきます。多くのサポーターの皆さんも、全く同じ気持ちなのではないでしょうか。シーズンの新スローガンは「ONE SOUL 雷鳥奮迅」と発表されました。クラブエンブレムにもなっている雷鳥が、力の限り戦い、勝利を勝ち取るというものです。その勝利は、必ず長野県全体の元気と活性化につながるものと信じます。

みんなで、松本山雅FCを盛り上げていきましょう!

ONE SOUL!!

酪農課

畜産・酪農家との婚活パーティー参加者募集中

若手畜産酪農生産者と、畜産酪農に興味・関心のある女性を対象に婚活パーティーを開きます。プロフィールカードの交換や男性陣自慢の農畜産物の紹介、フリートークなどで交流を深めます。興味のある方は下記までご連絡下さい。

開催日時……平成29年2月25日(土) 17:00～20:00

会場……ホテルブエナビスタ(〒390-0814 松本市本庄1-2-1)

主催者……長野県生乳生産販売委員会青年部会、全農長野県本部、JA全農長野・農協・専門酪農協、JA長野県・信州肉牛生産販売協議会、JA長野県信州ポーク生産販売協議会

応募資格……県内畜産・酪農後継者で20代～40代の独身男性 10名程度
結婚に前向きな県内・県外在住の20代～40代の独身女性 10名程度

会費……男性5,000円、女性2,000円

募集人員が集まり次第、締め切りです。

問合せ先……全農長野県本部 酪農課 TEL 026-236-2382

野菜花き課

第48回信州フラワーショー
ウィンターセレクションのご案内

長野県が全国一の生産量を誇るアルストロメリア、ダリア、アネモネをはじめ、花木類など県内から約400点が出品され、品質や技術を競います。皆様のご来場をお待ちしています。

開催日

平成29年2月2日(木)・3日(金)

一般公開(入場無料)

平成29年2月2日(木) ……15:00～18:00

2月3日(金) ……9:00～13:00

会場 JA南信会館3階(伊那市狐島4381番地)

実施内容 (1)品評会(切花、花木)
(2)展示会 ①フラワーアレンジメント ②種苗会社による品目・品種紹介
③花き関連新資材 等

(3)花の販売

①品評会出品展示品……一般公開時に予約販売を行います。
ご予約いただいた花は、一般公開終了後の2月3日13時～15時にお渡しします。
②信州産の花を使った花束・アレンジメント等……一般公開時に販売します。



小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属:相澤病院(松本市)



長野県の美味しい作物は
みつやま
「三ツ山マーク」をつけて
出荷しています。

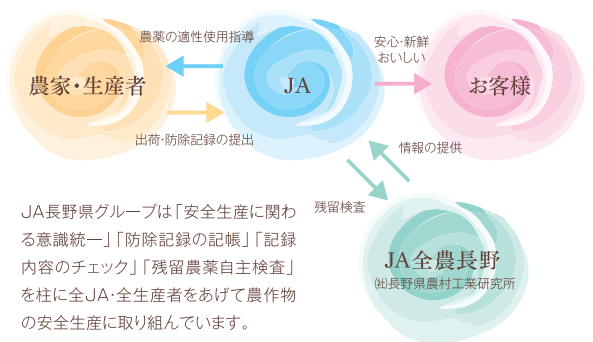
JA全農長野は、信頼される産地を目指し、
安心安全な農産物の供給に努めています。

産地産直で信州を食べよう!!



インターネット通販
JAタウン 僕はおいしい応援団

『安心・新鮮・おいしさ』を
お届けできるワケ



ながの★ゲンキ
みらい★ミカタ
JA全農長野



〒380-8614 長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3

信州力
JA全農長野農産物PRキャラクター



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

